

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】

医薬品の乱用歴のある患者を対象とした、外来診療における薬剤師介入の有用性を調査する研究

【研究責任者】

病院薬剤部 薬剤師 三浦拓人

【本研究の目的及び意義】

我々は、医薬品の適正使用に薬剤師が寄与できると考えており、その方法として、入院中に担当した薬剤師が退院後の外来診療時も継続してサポートを行うことで、医薬品の適正使用を支援する制度を構築することを検討しています。本研究では、退院後の外来診療時に薬剤師と面談していただき、医薬品の服薬状況や副作用などを確認させていただくことによる有用性を調査することを目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2016年8月1日より2019年7月31日までの間に、当院薬物依存症外来を初回受診し、問診票を記載した方。

利用する試料・情報等

情報等: 通常の診療で得られる診療録の情報(年齢、性別、患者ID、入院歴など)

研究期間

2020年1月1日より2021年3月31日まで

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 薬剤部 氏名 三浦拓人

電話番号

e-mail: tmiura※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)